

## 北公民館

# 分館運動会・レクバレー大会

4月22日(日)から5月13日(日)の日曜日、祝日に、各分館で、運動会やレクバレー大会が行われました。



▲息を合わせて、みんなでジャンプ!(西高柳)



▲綱引きワッショイ! お父さんががんばって(恵久美)



▶○×クイズ。さあみんな考えてみよう。(大間)



緊張のスタート  
頭のお手玉を  
落とさないでね。  
(北川原)



▶息を合わせて  
1・2! 1・2!  
(昌農内)



▲レクバレー大会。さあ、アタックだ!(上高柳)

▼ねらいをさだめてゲートをねらえ!(西古泉)



▲ワーイ! に入った楽しい玉いれ(塩屋)

## 人権・同和教育シリーズ 第223回

# 家庭の役割

北伊予小学校教諭

山本 佐津貴

我が家の庭も花いっぱいになりました。どの花もあたたかい光を注ぐ太陽に向かって伸び、やがて実をつけようとしています。

この姿を家庭生活に置きかえてみますと、花が咲きやがて実をつけようとする植物は子ども、植物の成長を願いあたたかい光を注ぐのは親、と考えることもできるのではないのでしょうか。

常に目を離すことなく、我が子に共感的な態度で接し、よりよい方向へアドバイスできる親でありたいと思います。子どもが3歳になるまでに家庭でしっかり教えなければならぬ、世界に共通する言葉として、三つの言葉があると言われています。

○ありがとう  
○ごめんなさい  
○どうぞ

自分がしてほしいこと、自分がしてもらったらうれしいことを相手にもして、こういう気持ち小さい時からもさせたいということです。

幼い子どもに理屈を言ってもわかりません。まず親が、その場・その時に「ありがとう。」「ごめんなさい。」「どうぞ。」という言葉を使い、互いに認め合い、助け合つてもに生きていこうとする人権尊重の意識を身につける出発点にしていきたいものです。

家庭での人権・同和教育の基本は、自分も大切に、そして他人をも大切に、子どもづくりに関わると言われています。親がまず自分の生活態度で示し、子どもに学ばせていくことが大切です。

我が家でずっと続けていることに、祖父母も含めた6名の誕生日会があります。この誕生日会を通して、子どもの成長を喜び、周りのみんなに感謝することが出来ます。今後も続けていきたい行事です。家庭が互いに自分の考えや思いを話し合えるようなあたたかい人間関係を結ばれた明るい家庭をめざし、親としての役割を果たしていきたいです。